

「夏休み」とは名ばかりの忙しい日々を送る大高生。町内だけにとどまらず、幡多エリア、そして四国と活躍の場を広げて、さまざまなことにチャレンジする夏となりました。

入野駅闇市に向けて奮闘したり、うまいもん甲子園に出場したり、道の駅ビオスおおがたでみらい起業部員がかき氷の販売を行ったり、谷建材の建物に風神雷神の絵を描いたり。

今回はその中でも、吹奏楽部の活動を取り上げたいと思います。8月8日(金)、中村駅ホームにて、幡多農業高校、宿毛高校、清水高校、大方高校の吹奏楽部員が集結し、「真夏のミニ演奏会」が行われました。昼下がりの夏の暑さも吹き飛ばす、爽やかな音色をホームいっぱい響かせた吹奏楽部員たち。大方高校からは1年生3名が参加し、「アンパンマンのマーチ」や「銀河鉄道999」、「怪獣の花唄」など小さなお子さんから年配の方まで楽しめる曲を披露。この日は、地域の方、保護者の方、音楽好きな人で賑わう中村駅でした。

地域の方とコラボレーションをしたり、一緒になってイベントを作りあげたり、活躍する機会をたくさんいただき、大きく成長するきっかけを得た大高生です。今後とも大高生の活躍を見守っていただければと思います。



〇お問い合わせ 本庁 企画調整室 企画振興係 ☎43-2177

くろしお協力隊に聞く



㊤ 7月から協力隊に着任した岡前さん。協力隊を志望した理由を教えてください。

㊤ 私は東京出身で、学校を卒業後は地元で働いていました。8年ほど働いた頃に転職を考え始め、その際に移住も考えました。転職と移住先について調べていく中で、2泊3日の「黒潮町おためし地域おこし協力隊ツアー」の募集を見つけ、応募し参加しました。この時初めて四国に来ました。

それからは、旅行で来たり、「Tシャツアート展」のボランティアに参加したりと何度か黒潮町に足を運び、見るものが全部美しく何を食べてもおいしいということに感動し、1年間で地域おこし協力隊に応募することを決めました。

㊤ 現在の仕事内容を教えてください。

㊤ 着任してからの2カ月間は、販売や品出しの業務を担当していました。常設のカフェでは、ソフトクリームを作ったりお客さんの対応をしたりしていました。最近は、「ひなたや食堂」で、食器を洗ったり料理の補助などの業務を行っています。今後も、期間はわかりませんが、さまざまな業務内容に携わる予定です。

㊤ 黒潮町の印象は？

㊤ 東京と比べると、時間の流れがゆったりしている感じがします。最近は、夜になると虫の音がたくさん聞こえて、季節の移り変わりを感じられます。黒潮町に住み始めてからは、移居前より規則正しい生活が送れていて、心身ともに健康になっている実感があります。道の駅ビオスおおがたで働き始めて、これまでは生活を整えることで精一杯でしたが、これからは、海へ散歩に行ったり、ホエールウォッチングに参加したりと黒潮町での生活を楽しみたいと思っています。

【今月の担当者】
地域おこし協力隊
(道の駅ビオスおおがた担当)
おかまえ なつき
岡前 奈月



お店前を掃除する岡前さん

協力隊から一言!

町のことをもっと知ってみたいです。よろしくお願いします。